

ダニ類が媒介する感染症の発生について

- 令和8年10月15日、大崎保健所管内でつつが虫病の発生が確認されました。
- 今年、宮城県では重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、日本紅斑熱とダニ類による感染症が発生しています。

【県内のつつが虫病発生状況(第42週時点)】

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
宮 城 県	6	1	9	4	1
全 国	495	447	357	293	72

※全国値は第41週時点

<ダニ類が媒介する感染症に注意しましょう>

- つつが虫病は、つつが虫病リケッチアという病原体を有するツツガムシに咬まれることで感染します。
- 野山に生息するダニ類が媒介する感染症は、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、日本紅斑熱、つつが虫病等があります。
- ダニ類は春から秋にかけて活動が活発化するため、畑作業や草刈り、山菜採り、キャンプ、登山など森林や草地などの野外で活動する際には注意が必要です。
- 野外での活動時には、長袖、長ズボンを着用し、肌の露出を出来るだけ少なくする、ダニ忌避剤の入っている虫よけ剤を使用するなど、ダニ類に咬まれないような十分な対策を講じてください。また、野外作業をした際は、帰宅後、手・腕・脚、首回りなど、肌の露出部位や、腋などの柔らかい部位に虫刺されがないか確認してください。
- もし、刺されたような跡があった場合には、ダニ類に咬まれた可能性もあるので、2週間程度は体調の変化に注意してください。発熱など症状が認められた場合は、医療機関を受診し、発症前の行動(森林・草地等に出かけた日等)も医師に伝えてください。

【参考】ダニ媒介感染症(厚生労働省ホームページ)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>



【参考】マダニ対策、今できること(国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト)

<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/tick-borne-diseases/tick-prevention/index.html>



【参考】ダニ類が媒介する感染症に注意しましょう(宮城県ホームページ)

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/situkan/danibaikai.html>

